

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3970500306
法人名	有限会社 五月商事
事業所名	グループホーム さつき
訪問調査日	平成20年10月23日
評価確定日	平成20年12月16日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970500306
法人名	有限会社 五月商事
事業所名	グループホーム さつき
所在地 (電話番号)	土佐市高岡町甲2065-2 (電話) 088-852-5557

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年10月23日	評価確定日	平成20年12月16日

## 【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成16年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤9(内兼務2)人、非常勤11人、常勤換算15.5 人	

## (2)建物概要

建物形態	併設/ <del>単独</del>	<del>改築</del> / <b>新築</b>
建物構造	鉄骨造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有( 円)	<del>有</del> / <b>無</b>	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

## (4)利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名	
要介護1	6 名	要介護2	6 名			
要介護3	5 名	要介護4	1 名			
要介護5	名		要支援2	名		
年齢	平均	88 歳	最低	81 歳	最高	99 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	井上病院、塩田歯科
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は住宅地の中心にありながら静かで、周辺の民家に溶け込んでいる。広い敷地の南の庭には芝生を張り、四季の花々にも囲まれ、庭のベンチにはテントを張り、四季を通じてお弁当を食べたり、お茶を飲んだりできる憩いの場となっている。環境もさることながら、管理者の介護に対する情熱と優しさが全職員に浸透し、職員のチームワークも良く、そのことがケアに反映されている事が窺われる。利用者はその人らしさを失うことなく伸び伸びと生活しており、また、法人代表者が食材にこだわっていることから、食事を楽しみにしている利用者が多い。今後も安心してその人らしい暮らしが継続され、地域に密着したグループホームとして発展されることを期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善課題については改善シートを作成し、管理者を中心に全職員で検討し、順次改善に向けて取り組んでいることが窺われる。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は評価の意義を十分理解しており、前回の改善課題も考慮に入れながら、日頃からの「気づき」等を職員会などで話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議では、事業所からホームの近況、自己評価の内容、外部評価の結果等について報告を行い、家族からレクリエーションの行き先の花の咲き具合や利用者の身体状況が改善された喜びなど、多様な意見や感想が報告されている。最近、事故米の事に触れ、事業所が使用している米の産地を報告するなど、事業所の運営や姿勢に対する理解を深める努力をしており、双方向的な会議になっている。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族が訪問しやすい雰囲気や話しやすい関係を築いている。事業所は、家族との関わり、繋がりを非常に大切にしており、些細なことでも連絡を取り合いながらケアに取り組んでいる。そのことが面会、外出、外泊が多い事に現れている。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議をきっかけに住民代表者との関わりが深まり、地域住民が事業所の行事等に参加してくれる回数や参加人数も増えるようになっている。また、ボランティアとして協力してくれる人もいる。今後も、地域及び住民との交流を深めるための一層の努力を期待したい。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「地域の中で入居者一人ひとりが笑顔でゆったりと過ごせるように…」という、地域密着型サービスとしての独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 ホーム内の目に触れやすい場所に理念を掲示し、職員会でも話し合い、意識づけをする努力をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 職員は理念を念頭に置き、日々の声かけやケアの仕方について理念とのずれがないか、互いに話し合いを行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会には加入していないが、地域住民などから情報を得ながら、地域住民の一員として交流を深めるよう努力している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域の自治会活動が活発でないため町内会には加入していないが、地域で開催される行事には参加し、ホームで行う行事にも地域住民に参加してもらうなど地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 職員はサービス評価の意義を理解しており、自己評価も全員で取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の評価で見出された課題について改善シートを作り、内容を検討し、改善に向けて取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>会議では、事業所からホームの近況、自己評価の内容、外部評価の結果等について報告を行い、参加メンバーからは、行事についてのアドバイスや多様な意見が出され、双方向的な会議となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>運営推進会議で評価結果を報告し、進捗状況も報告して意見を出してもらうなど、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>運営推進会議で市の担当者と話し合うのみであり、積極的な交流には至っていない。</p>	○	<p>事業者側からも積極的に行政へ働きかけ、よりよい関係づくりを行い、サービスの質の向上に努めることを期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族が来訪しやすい事業所の雰囲気づくりに留意し、来訪時には利用者の近況を報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>毎月、請求書と一緒にユニットごとの「さつき便り」を送付し、各利用者の暮らしぶりの添え書きや写真を同封している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>家族来訪時に領収書を手渡しして、金銭出納帳に確認印をもらっている。県外在住の家族も2カ月に1回は来訪する為、その時に確認印をもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会は年2回開催している。出席率は決して良いとは言えないが、日頃から顔馴染みの関係を作っており、家族同士が話しやすい場面作りには心掛けている。  <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。  家庭内の相談が多いが、苦情等が出た場合は、職員会等で話し合い、今後のサービスの質向上に役立てるようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。  ユニット間で半年に1回2～3人の職員の異動を行い、事業所全体として馴染みの関係が継続できるよう努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。  ほとんどがユニット間の異動であり、その際にも、人員が少なくなる早出、遅出などの勤務に補助をつけるなど、スムーズに移行できるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 全職員が研修や会議等に参加できる体制となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 毎月1回の職員会で研修結果を報告し、内容を共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 県内の連絡協議会に加入している。 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。  他の同業者との交流は管理者のみで、職員全体までには至っていない。	○	職員も他の同業者の職員等との交流を行う事でサービスや職員の資質の向上にも繋がるので、今後は、職員の交流の機会を積極的に持つことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入居時に利用者の心身の状況、生活歴、病歴などを家族等から聴取している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>見学は自由にしてもらっており、希望者には体験してもらえるようにしている。</p> <p><input type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>母体法人の病院に入院中の人には複数の職員が面接を行っているが、他の施設、病院、在宅などは管理者が面接を行っている。</p>		<p>利用者が安心してグループホームで生活を送るために、母体法人の病院に入院している場合だけでなく全ての入居希望者に対して、複数の職員で面接を行い、多面的・多角的に情報を収集することを期待したい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>できる事はなるべくやってもらうように心がけ、利用者と職員が「支え合う」関係づくりに留意し、協働しながら生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>一緒に生活する中で、その時の利用者の気持ちの変化や思いを共感し、手をさしのべながら理解するように努め、共に支え合う関係を築くようにしている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>日々の関わりの中で積極的に声をかけ、会話や表情などから利用者の希望や意向を把握するように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>利用者の意向を把握しづらい人には家族から情報を得るようにし、また、職員が寄り添い、耳を傾け、利用者にとってなにが最良かを把握するように努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>介護計画については「お任せします」という家族が多いが、職員は、本人や家族の意見を聞き、気づきを加えて、その人らしさを失わない実践可能な介護計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>常に利用者の残存能力を重視し、かつ、生かすことを考え、職員全員で活発な意見交換を行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3カ月に1回定期的に見直しを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>本人等の状態を判断し、柔軟且つ臨機応変に対応している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>家族と話し合っ、近くの母体法人の医療機関や訪問看護による医療処置を受けながら、事業所での生活が継続できるよう支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>通院や緊急時など家族の同伴が困難な場合は職員が同伴するなど、柔軟な支援を行っている。外泊に対する支援も重要と捉え、積極的に支援している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>かかりつけ医については、利用者及び家族と話し合いのうえ、受診できるように支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>受診結果はその都度報告し、家族同伴の場合も聴取し、情報の共有を行っている。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>終末期の対応については、看取りの指針を作成し、利用者、家族、関係職員を交えて話し合いを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>利用者にとって何が最良の方法であるかを、本人の状態や家族の意向を十分に聞きながら話し合い、医師との連携を図り納得した最期を迎えられるように取り組むようにしている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>トイレ誘導等の場合、職員は利用者のプライバシーを損ねるような言葉かけは行っておらず、常日頃プライバシーの保護には十分配慮するよう話し合っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することを話さないことを徹底している。</p> <p>個人情報の取り扱いについては業務内外を問わず心配りをし、他に話さないことを徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>採用時に全職員から誓約書を取り、職員会等で個人情報保護法についての理解を深め、秘密保持の徹底を図っている。</p>		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。  一人ひとりのその日の体調や気分に合わせて、個別の支援を心掛けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。  基本的な事業所のスケジュールはあるが、個々の利用者のペースを尊重し、その人に合った柔軟な支援を心掛けている。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 調理の下ごしらえ、盛り付け、後片づけなど、利用者の意志や能力を尊重して進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。  職員は利用者と一緒に同じ物を食べ、食事を楽しむ雰囲気大切にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。  利用者の希望に合わせて入浴支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  入浴を拒否する場合は声かけの時間帯や担当者を変え、工夫して支援するようにしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  職員は利用者の経歴や経験などに加え、日々の生活の中で個々の利用者が如何にすれば「喜びのある日々」を過ごせるかを探りながら、家事や楽しみごとの場面で能力等を発揮できるように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  職員は利用者の特徴や得意分野を把握しており、新たな役割や楽しみごとを作り出せるよう、家事やレクリエーションの時などに声をかけ、働きかけをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 利用者の希望に沿って買い物や馴染みの場所等に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 庭が広いので、車椅子利用の人も積極的に戸外に出るように支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 散歩、外出、買い物など一人ひとりの希望に沿う支援を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 職員は利用者の外出の習慣などを把握しており、外出傾向のある人にはさりげなく付き添い、見守りながら支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 散歩の時などを利用して日頃から地域住民との交流を深め、連絡等してもらえる関係を築いている。		
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 事業所内の消防訓練は年2回行っているが、地域住民は参加していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 避難路の確保、消火器の点検は定期的に行っている。非常用食品も事業所内に準備をしている。	○	災害時は、事業所のみでは安全の確保は難しく地域住民の協力が不可欠である。消防署、町内会長、民生委員など関係者と相談し、避難訓練に地域の人々の参加が得られるよう、継続した働きかけをすることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>利用者一人ひとりの食事と水分摂取量の把握は行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>一人ひとりの嗜好を把握しており、献立は事前に利用者の好みなどを伝え、法人の栄養士が作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>共用空間には、馴染みの家具を置き、ソファーやテーブルを配置し、畳の間も設け、居心地が良く、安心して過ごせる場所となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>利用者と一緒に作った作品を飾り、家庭的雰囲気を醸し出している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>玄関には季節の花の鉢植えを置き、居間には活け花やたわわに実った柿の枝をテーブルなどに飾り、季節の息づかいが感じられる工夫と五感の刺激に配慮した心配りが感じられる。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>馴染みの家具、家族の写真、観葉植物を置くなど、個々に工夫した居室となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>家族と連携し、居心地良く暮らせるように留意している。</p>		